

(別紙)

公募型共同研究プログラム (ARCP)
平成 19 年度支援プロジェクト一覧

課題名	参加者の所属国 (下線は代表者の所属国)	予算額 (US\$)	年次/期間 (年)
1. 東南アジアにおける炭素金融市場、地方の貧困、地球気候変動－ スコーピングワークショップ、トレーニングとプロジェクトサイトの準備	<u>米国</u> 、カンボジア、ラオス、ベトナム	30,000	1/1
2. 熱帯アジアにおける年輪年代学： 気候学と森林生態学	<u>フィリピン</u> 、インド、米国、タイ、スリランカ、マレーシア	70,000	1/2
3. 東モンスーンアジアにおける気候変動の地表水水質に及ぼす影響：健全な気候変動リスク管理に向けて	<u>韓国</u> 、カンボジア、中国、インドネシア、マレーシア、タイ	42,000	1/2
4. 北西太平洋における沿岸域の生物多様性：現状、脅威、予想される変化と保全	<u>ロシア</u> 、韓国、中国	40,000	1/2
5. 景観パターン形成に対する規模効果の分析に基づいたアジアの 3 開発途上国における土地利用の都市化の定量化	<u>中国</u> 、ベトナム、フィリピン	30,000	1/2
6. アジア太平洋地域における気候の変動と沿岸域：脆弱性評価と持続可能な管理戦略への総合的アプローチとその手法	<u>オーストラリア</u> 、バングラデシュ、日本、スリランカ、タイ、ベトナム	40,000	1/2
7. 熱帯の泥炭地帯における温室効果ガス削減と気候変動に対する抵抗力強化のための緩和と適応オプションの評価	<u>マレーシア</u> 、オーストラリア、インドネシア、日本、タイ	40,000	1/1
8. アジアメガデルタ：デルタ地域における災害の軽減から見たモンスーン循環：千年スケール及び季節変動まで	<u>中国</u> 、米国、ベトナム、日本、バングラデシュ、パキスタン、インド、カンボジア、オーストラリア、タイ、ミャンマー、カナダ、ブルネイ・ダルサラム、インドネシア、韓国	38,000	1/2
9. フィリピン、ベトナム、中国の自然災害多発地域におけるコミュニティの脆弱性評価及び適応の政策的意味	<u>フィリピン</u> 、ベトナム、中国	70,000	1/2
10. CDM を通じた廃棄物処理の改善による温室効果ガス排出の緩和	<u>ネパール</u> 、日本、インドネシア	40,000	1/1

11. 異常気候現象の変化傾向に関する指標開発とその気候変動予測への適用	パキスタン、韓国、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、カンボジア、中国、フィジー、インドネシア、ラオス、マレーシア、モンゴル、タイ、オーストラリア、日本、ニュージーランド、ロシア、米国	57,000	1/3
12. 熱帯河川における土地被覆、土地利用変化及び気候変動影響下における土砂輸送の動力学及び下流への影響－タイにおいて*	米国、タイ、中国、インド、日本、ベトナム	40,000	2/2
13. データへのアクセス及び移転に関する国際統合アジアプロジェクト*	日本、中国、タイ、モンゴル、パキスタン、インド、ベトナム、バングラデシュ、インドネシア、フィリピン	43,000	2/2
14. 東アジア及び太平洋地域における環境変化及び熱帯沿岸域生態系への人間影響の管理のための総合的支援システム*	日本、フィジー、インドネシア、フィリピン、タイ、サモア	前年度に措置済	2/2
15. 東南アジア及び東アジア地域における沿岸域の総合的脆弱性評価*	フィリピン、カンボジア、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナム	前年度に措置済	2/2
16. 東南アジアにおける気候変動への適応と持続可能な開発の統治*	フィリピン、インドネシア、ベトナム、ラオス	前年度に措置済	2/2
17. 気候と作物病害のリスク管理：アジア太平洋地域における国際イニシアティブ*	オーストラリア、バングラデシュ、インド、カンボジア、米国	35,000	2/2
18. 東南アジアにおける都市－地方の大気汚染の大気質・気候への影響の解明*	タイ、日本、ベトナム	30,000	2/2
19. 塩分遡上による沿岸域の環境変化の管理と影響評価*	ニュージーランド、パキスタン、オーストラリア、日本、インド、スリランカ	26,000	2/2
合計額		671,000	

* は前年度からの継続プロジェクト（複数年プロジェクト）

開発途上国の研究能力開発・向上プログラム（CAPaBLE^{ケイパブル}）

平成 19 年度 支援プロジェクト一覧

課題名	参加者の所属国 (下線は代表者の所属国)	予算額 (US\$)	年次/期間 (年)
1. 太平洋島嶼国の農村地域における環境分野の意思決定の理解	<u>フィジー</u> 、クック島、キリバス、バヌアツ	43,000	1/1.5
2. インドとパキスタンにおける化学分析の能力向上とアジアにおける政策決定者と人々のリスク認識度の向上	<u>日本</u> 、ロシア	24,000	1/1
3. 気候変動の新たなリスク：最も脆弱な地域を守るための能力開発	<u>インド</u>	20,000	1/1
4. 政策決定者の情報に基づく意志決定を可能にするための、気候変動影響の経済的意味と適応政策の便益の伝達	<u>インド</u>	30,000	1/1
5. ワークショップ「モンスーンシステム：気候変化と変動の予測」	<u>米国</u> 、中国、インド、マレーシア、韓国	50,000	1/1
6. 北アジアにおける大気組成、人為的負荷と気候変動の相関関係の研究能力開発	<u>ロシア</u> 、日本	38,000	1/1
7. 気候変動と将来枠組に関するアジア諸国の能力開発	<u>インドネシア</u> 、日本、中国、タイ、バングラデシュ、インド、韓国（予定）、太平洋島嶼国（予定）	45,000	1/1
8. バングラデシュにおける社会参加型植林プログラムの社会経済的効果と教訓*	<u>バングラデシュ</u>	前年度に措置済	2/2
9. 後発開発途上国における能力開発の障壁除去：気候変動への脆弱性と適応の管理のための手法移転*	<u>スリランカ</u> 、バングラデシュ、ラオス、カンボジア、ネパール、英国	30,000	2/2
10. 気候の変化と変動の生物多様性への意味：若者のシナリオ構築と適応策*	<u>フィジー</u> 、サモア、キリバス、バヌアツ	35,000	2/2
11. インド-ガンジス平野をまたぐ地球環境変化と食糧安全の相互影響への政策対応の改善*	<u>ネパール</u> 、バングラデシュ、インド、パキスタン、オーストラリア、ニュージーランド、米国	60,000	2/3

12. 温帯北東アジアにおける水と食糧安全の統合評価モデルの開発及び潜在的な緩和策及び持続可能な開発機会の解析*	中国、モンゴル、ロシア、ニュージーランド	60,000	2/3
13. 東南アジアにおける米生産と水バランスに関する気候変動の影響、脆弱性、適応の評価*	タイ、ラオス、ベトナム、カンボジア、オーストラリア	60,000	2/3
合計額		495,000	

* は前年度からの継続プロジェクト（複数年プロジェクト）

運営委員会等役員の一覧

氏名	国	所属
----	---	----

【政府代表】（任期2年）

（委員長）サミュエル・ペニャフィエール	フィリピン	環境資源省 地域局長
（副委員長）塚本 直也	日本	環境省 地球環境局研究調査室長
リアナ・ブラタシダ	インドネシア	環境省 地球環境担当顧問

【科学企画グループ共同議長】（任期2年）

アンドリュー・マッシューズ	ニュージーランド	AM-NZ サービス代表、ニュージーランドユネスコ国内委員会委員
ガルディ・ダルマラトナ	スリランカ	気象庁 気象局長

【次期政府間会合ホスト国】（任期1年）

ムツクダ・ジャヤティラッカ	スリランカ	環境省 次官
---------------	-------	--------

【補助メンバー】（任期1年）

プティポン・ブンブン・ナ・アユダヤ	タイ	資源環境省 次官
キム・セウンヒー	韓国	環境省地球環境室長
マイケル・ストダート	オーストラリア	環境水資源省南極課科学主席
ルイス・ブラウン	米国	米国国立科学財団地球科学分野長 国際研究協力作業会合議長
ローランド・フュークス	米国	START 事務局長